Oきばなはぎノ渡來ニ就テ (津山 尚)

きばなはぎ (おほみつばたぬきまめ) ハ學名ヲ Crotalaria Saltiana ANDR. ト言ヒ、印



度原産デアルガ、今デハ熱帯地ニ普通ナ雑草トナツテキル。日本領内デモ琉球、臺灣、小 笠原島ニ多ク 緑肥用ノモノガ 野生化シタノデアルト言フ。 印度デハ茲ノ繊維ヲ用ヒルタ

> 寸類 七本 沙許而月草 內 差開 互. ルレ長 3 夏 'n 祸 山山 11 右 色豇和脂 產麻口如 垄 豆 芄 云 狀白 ىل 形 中中 荻 ì 不 熱池葵苑 先 7 出 而報 似阪 生 藥 同小令 鳴 而 か 7 長 $\tilde{\tau}$ 此至 如儿 + 沙 テ j 苗 古 Ŧ 生 狀許 1 ス 全 巨豌 高 2 豆. フ 子 處 き歳 地 ク花 水 クト Ξ 极野共多 七淡似尺的 大實而 P Æ 如味近 熱田 持 1) 泰甘道 同シ長形 粒而亦 状ジ テク 權渡 李微有 7 即透稍 二十儿前 時服之 沙 明 小似上 後大 誤 テ混 珍褐綠 I 17 日綠 白色 " ガ 鐭 如 點綿 = 方 4

門人同同勢

同 同 勢 勢 州 州 津相 可

機陰河邊尚志機齊岡 安定同 安定同

绿

テ

中

Я

並二

=

口微形

結

·}-

メニ同屬 / C. juncea L. (Sunn hemp /原植物)ト共=栽培サレル。英名ハ rattle-pod ト言ヒ、Rock 氏 / The Leguminous plants of Hawaii (1920) ニハ立派ナ寫眞ガ出 テキル。

先日本郷通ノ古書肆デ偶然コノ植物ノ日本デ最古ト思ハレル圖ヲ 發見シタ。ソレハ挿 入寫眞ノ様ニ美濃版一枚摺ノ左ニ彩色圖、右ニ説明文ヲ載セタモノデ、山本亡羊先生門下 ノ極一部ニ分配サレタモノト思ハレル。

文中ノ脂麻ハごま、豇豆ハささげ、合萌ハくさねむヲ意味シテキル。然齋先生ノ草木圖 説卷十三ノきばなはぎノ1項ニハ嘉永年間ニ舶來ト書イテアリ、白井光太郎先生モ渡來 考デ同様ニ引用シテキラレルカラ、コノ圖モ輸入直後ノモノト 思ハレル。山本亡羊先生ノ百品考(三編上)(永嘉6年)ノ文ト比較スルト、漢文ノ引用ハ短カク、和文ノ記相交ハ長ク詳シイ。コノ一枚摺ニヨルト種子ヲ播イテ實驗シテ見タコトが判ル。本來ノ白葵、薬ト沙苑蒺菜トガ 同一物デアルカドウカ又コレハ何物デアルカハ小生ノ様ナ初步者ニハ判ラナイ。和語本草、本草綱目啓蒙、集解、救荒本草等=或ハ Tribulus =或ハ Cassia=當テ色々ト書イテアルガ、ムツカシイ。 STUART, BRETSCHNEIDER 氏等ハ兩者ヲ Tribulus デアルトシテキル。イヅレニシテモ亡羊先生ノ様ニコレラ Crotalaria saltiana=當テルコトハ形態上カラモ 無理ガアリ、又原産地ノ同州沙苑ハコノ様ナ 熱帯植物ノ生育ヲ許サナイト思ハレル。 英ヲ振ツテ 番ガスルト言フノハ 英名ト同ジコトデ、若シ偶然ノ一致トスレバ面白イコトデアル。本項ノタメニ人内清孝氏、木村雄四郎氏、佐々木一郎、氏コリ文獻上種々ノ便宜ヲ得タ。記シテ謝意ヲ表シマス。

OShibatæa (おかめざさ屬) ノー新種 (前川文夫)

江西省ノ彭澤縣城ハ 揚子江ニ面シタ小サナ 町デアツテ 四園ニ山ヲ環ラシソコニハ城壁 ガ山ヲ越エ谷ヲ渡ツテ續イテ居テ 萬里ノ長城ノ雛型ノ様ナ 景色デアル。 コノ現今ノ町カラ遠ク郊外數里ノ地ニ古ヘノ彭澤ガアル。 彼ノ 陶淵明ガ 縣知事ヲシテ居テ 有名ナ歸去來ノ辭ヲ作ツテ故山ニカヘル前ニ居タ處ハ 恐ラクソノ 邊デアツタラウ。 今ハサビシイ景物トシテ崩レカ、ツタ 古塔ガ 殘ツテ居テ、一層荒凉タルモノヲ感ジサセル。 先年中支ノ前線ニアツタ時、コノ地ヲ通ツテおかめざ ムノ一種ヲ 採ツタ。 丈ガ餘リニモ 低クテコノ屬トハー寸受ケトレヌ 位デアツタガ、根莖ノ構造ヤ 獨特ノ葉ハ 本屬デアルコトヲ示シテ居タ。 本年春内地ニ歸還シテ、研究スル機ヲ得、新種ト判ツタノデ、 當時隨行シテソノ際、色々ト 便宜ヲハカラレタ 井本保郎中尉殿ニ 感謝ノ意ヲ 表シテソノ名ヲ附ケ るもとざさ (Shibatæa pygmæa F. MAEKAWA, n. sp.) ト命名スル。

Shibatæa pygmæa F. MAEKAWA, sp. nov.

Rhizoma gracile internodiis 15 mm longis 2-3 mm latis, nodis inflatis. Culmus gracilis debilis 7-16 cm altus subteres. Vaginæ culmorum scarioso-membranaceæ longitudine internodio superantes. Folia longe ovata vel ovato-oblonga vel ovato-elliptica supra medium ad apicem attenuata basi rotundata vel subauriculata atque ad petiolum subito contracta 6-9 cm longa 2-3 cm lata margine spinulosa supra